

星の話(14) ほうき星 彗星

2020.04.26 星のお爺様

彗星は、本体の大きさが数Kmから数十Kmのとても小さな天体です。構成物質は、極低温で凍結したH₂O、CO₂、CH₄ や微量の塵などから成ります。太陽に近づくとこれらの成分が気化して周囲に拡散し、ときには太陽から輻射される荷電粒子(太陽風)によって流され、美しい尾を見せてくれます。

ホームズ彗星(6.9年周期) 木星付近で突然大爆発を起こした珍しい現象を捉えました 撮影地：我家の庭先



2007.11.05 急に増光



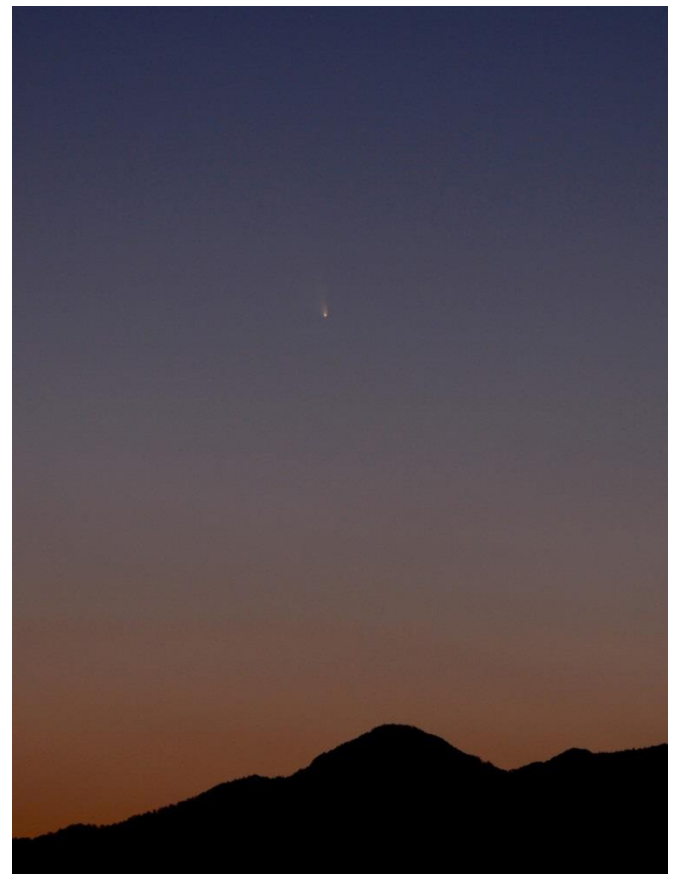
2007.11.14 爆発的に拡大



2007.12.06 尾が伸びてきました



ルーリン彗星(放物線軌道) 2009.02.24 撮影地：小笠原父島



パンスターズ彗星(双曲線軌道)

2013.03.12 撮影地：奥日光戦場ヶ原

惑星の公転軌道は円に近い楕円を描きますが、それとは対照的に、彗星の軌道は細長い楕円のものも多く、放物線や双曲線軌道を描くものもあります。放物線や双曲線の軌道の彗星は、太陽に近づくのは一度きりで二度と戻って来ません。



ウィルタネン彗星(44年周期) 2018.12.16 撮影地：我家の庭先
尾を引かずに去りました

突然現われ、妖艶な姿を見せる彗星に、昔の人たちは箒に乗った魔女を思ったかもしれませんね。